

文部科学大臣表彰 受賞

～子供の読書活動優秀実践図書館として～

神戸町教育委員会生涯学習課

1. はじめに

神戸町立図書館は、濃尾平野の北西部に位置し肥沃な平坦地にあり、自然に囲まれた場所にあります。このような環境の良い場所で、生涯学習の拠点として、町民が豊かに生きるための「学習の場」、ふれあいを高める「情報交流の場」として、新しい知識や情報に対する町民のニーズに的確に応えられるよう、図書館運営に努めています。

2. 文部科学大臣表彰について

神戸町立図書館は平成7年6月に開館し、建築物については平成9年10月に第13回日本図書館協会建築賞を受賞しています。また、令和3年度に文部科学大臣表彰を受賞し、子供の読書活動優秀実践図書館として表彰されました。



3. 図書館の概要

開館当初の図書館は、図書 38,941 冊(平成7年度末、うち児童書 11,744 冊(30.2%))、現在は 76,539 冊(令和2年度末、うち児童書 33,569 冊(43.9%))となっており図書冊数については約2倍、うち児童書においては約3倍となっております。この児童書の占める割合 43.9%は、他の図書館と比較しましても高い水準であると自負しております。

貸出冊数は当初図書・雑誌で5冊までを平成16年度より10冊までと2倍にし、利用者のニーズに応じております。



施設は、図書館のほかに鉄道模型展示室を別棟で設置し、鉄道模型のジオラマが展示されています。現在は土日祝日に展示室の開放(見学のみ)、偶数月の第3日曜日に鉄道模型の運転体験ができ、子ども達やマニア達の集客に一役買っています。

4. 本に親しむ活動

人間の一生涯で、誰にでも必ず本と関わる機会があります。神戸町では乳児健診時に「ブックスタート事業」を実施しています。これは健診時に絵本をひらく楽しい「体験」と「絵本」をセットでプレゼントする活動です。赤ちゃんや保護者の方に抱っこの中での絵本を読んでもらう心地よさや嬉しさの体験、また親子のコミュニケーションの場になればと行っています。



次に、子どもの読書推進活動として、次の3つのことを行っています。

①「ばたぼん」(毎月第1水曜日)

乳幼児と保護者を対象に、読み聞かせや手遊び歌遊びを通じ親子、親世代の交流を図っています。

②「えほんのひろば」(毎月第2・4土曜日)

幼児から小学生を対象に、絵本や紙芝居の読み聞かせと折り紙工作遊びをして、本に親しむ時間を過ごします。

③「絵本を楽しむ会」(毎月第2水曜日)

一般の方を対象に、学校などで読み聞かせ活動をしている方・絵本好きの方が集まり、テーマにそって選んだ本を紹介します。

これらの活動はボランティアの方々と連携して行っており、図書館としましてはボランティアの方の支援、育成に努めています。



更に、図書館主催行事として、年4回季節感のある催し物を企画しています。春は「こどもの読書週間」、夏は「夏休み期間」のイベント、秋は「秋の読書週間」、冬は「年末感謝祭」にあわせた企画を職員一丸となってアイデアを出し合っています。その他には、「赤ちゃん向け絵本」「テーマ本」の展示コーナー設置、「ブックリサイクル」の開催や「読書通帳」の配布、小学生を対象に図書司書の体験ができる「職場体験」の実施等を行っています。

最後に、広報活動としましては、図書館だよりを毎月発行していますが、子ども版図書館だよりも発行しており、児童書の新しく入った本の紹介やクイズなど子どもの興味ある話・イベント等の紹介をしており、このチラシを図書館内はもちろん各小中学校へ配付しています。また、ホームページにも掲載し町民等にも広くPRをしています。さらに中高校生用に「図書館だより YA版」を年4回発行しています。



5. おわりに

子どもの読書活動を押し進めるのに大切なものは、「神戸町子どもの読書活動推進計画」が挙げられます。神戸町はこの計画を平成27年に策定しており、すでに5年が経過しています。今年、令和3年度には「第二次神戸町子どもの読書活動推進計画」を策定し、今後5年間の子どもの本との関わり方を具現化し、計画の目標・推進のための方策を掲げて頑張ってまいります。